



新生編



知識

記憶

それまでの全てを
その科学者は
それに移植した
コピー

僕は
造られた

男の
クローン
として

僕の唯一の心残り

ムスメの
「シグレ」を
生かすため

せんせ

これから
ずっと一緒
だよ

地上界の
研究所から
逃げ出して

地下地域で
生活を送るよう
になってから10年――

ムスメと共に
生きていくうえで
悩みは尽きず

僕のはさらに
特殊であった



愛してるよ
エミリー

ああ
私もよ
トム

愛してるわ



ずっと
一緒だ

何があっても
放さないよ

アイ…

シテル



いっしょ

行かないで

…っ

トム…ッ

トム…ッ!

あ…





先生ッ！

おかえり
なさい！

聞いて！
先生！

ん？

ア…アイ

アイシテル！

！



また
僕の居ない間に
なにを見ていたんだ

エミリーと
トムだよ！



年頃になった
シグレは近頃
こういうセリフに
興味があるようだ



父親として
どう答えたら
いいものやら

まず使う場面を
正すべきか…？

いやそれより

僕とシグレは



……先生

……寝ちゃった？

こっちの方を

いい加減
正さなければ





せーんせ♥

起きてる
でしょ？

なんで
寝たふり
するの？

ね

しょ？



は

メンテナンス



この「メンテナンス」と
いうていで始めたのが
そもそもやっかいだ：

今さらやめて
果たしてシグレは
理解できるだろうか？

人の手で造られた
この子の
特殊な身体が

この行為なしでは
逆に苦しむことにな
るのでは？

あっ♡

あっっ

う…ん♡

うあっ
あっ…ああ♡





先生…♡

ここまで
来てしまった

…♡







ふっ

ア…♡

この子を
満足させるか

ふっ

ニン♡

話は

それからだ

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

アアア♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ふア♡♡♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡
ぐっ♡
ぐっ♡

うっ♡♡♡

♡♡♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ふっ



んっ♡
あ…ア♡

めっ♡

アアツ♡

言いそびれてる理由

僕は

せんせつ♡

きもちい♡

きもちい♡

この子が

可愛いのだ

可愛くて
仕方ないから

んあッ!

やつ
せんせ…ッ!

あッ

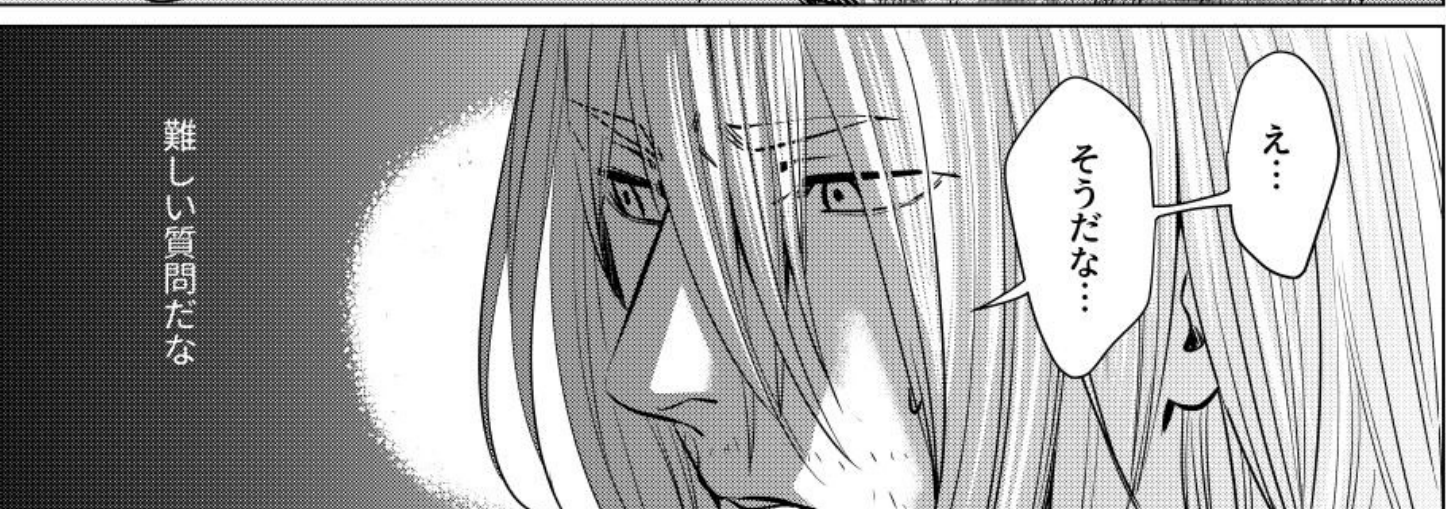
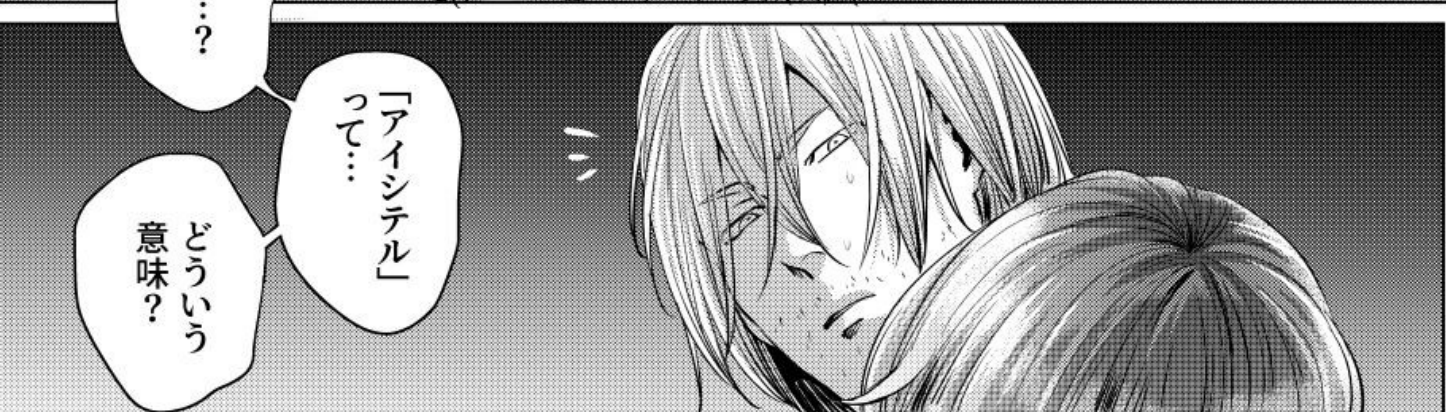
ああアアあッ ♡

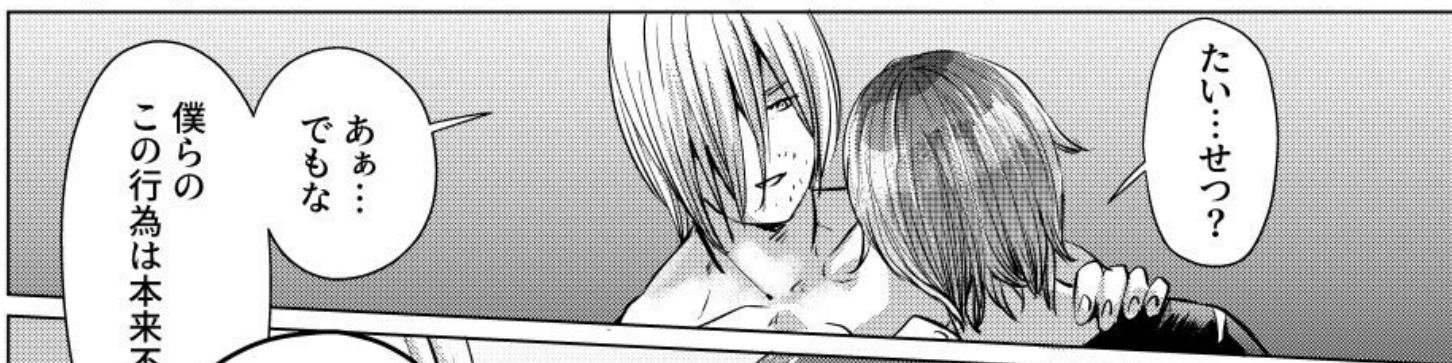
なにかと
理由をつけて

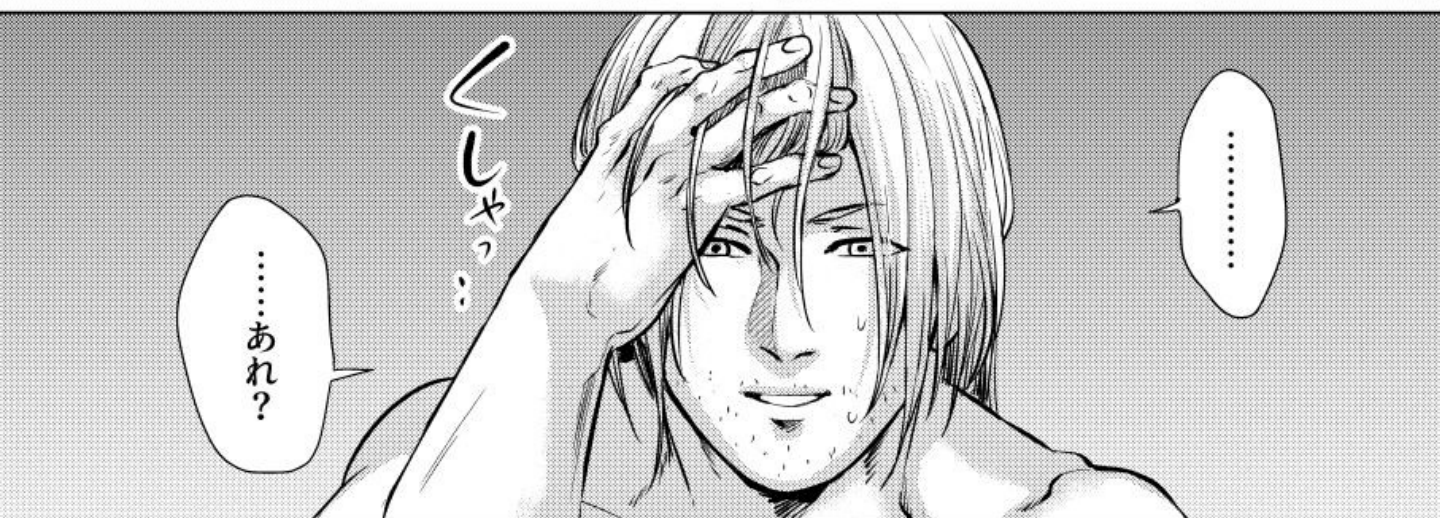


愛
して
る
……
ッ
!!









あいしてる

すり

…あ

参った

すまんシグレ…

また

先延ばしに…

僕も

愛してる

完







Daughter similar to daughter

Produce by ICHIMOJI SHOKAI